

# 看護学研究科博士後期課程 看護学専攻の人材育成に関する目的と3つのポリシー 【博士（看護学）】

<p>研究科の人材育成に関する目的（甲南女子大学大学院学則 第5条の2）</p>	<p>専攻の人材育成に関する目的（甲南女子大学大学院学則 第5条の2第2項）</p>
<p>看護学研究科は、生命の尊厳や人権の尊重について深く理解し、地域住民の生活の質を探究する豊かな人間性と高邁な倫理観を兼ね備えた質の高い、自立（自律）した教育・研究者ならびに高度な看護実践職者を養成し、社会における保健・医療・福祉の向上に貢献することを目的とする。</p>	<p>看護教育管理学、成育看護学、臨床応用看護学、コミュニティヘルス看護学を中心とする研究並びにそれに関連する教育科目から教育課程を構成し、各分野の専門性を尊重するとともに分野間の相互連携にも留意しつつ幅広い柔軟な視点から教授・研究を行う。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高度な知の統合能力を修得し、質的・量的研究において幅広い視野と深い学識を基盤として、国際的に通用する自立した研究者、教育者として必要な独創的で卓越した看護学の研究能力を身につけている。</li> <li>2. 広範囲に及ぶ国内外の文献のレビューを通して、看護学における先駆的な研究課題を見いだすとともに、その課題解決のための高度な研究方法を駆使できる能力、高度な看護理論の活用能力、ヒューマンケアの基本となる哲学的思考を基盤とした看護実践モデルの構築能力を身につけている。</li> <li>3. 科学的根拠を基に、国内外の看護をはじめとする健康問題の課題解決のための諸理論を構築するとともにその解決の方策を推進し、社会的な保健医療の課題解決に貢献できる能力を身につけている。</li> </ol>
<p>カリキュラム・ポリシー</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本課程の教育課程は、その教育目標を達成するため、博士後期課程での基盤的な能力を養う「共通科目」（選択）、各専門分野に対応した「専門科目」の2つの科目群により構成する。</li> <li>2. 教育研究の専門分野は、「看護教育管理学分野」、「成育看護学分野」、「臨床応用看護学分野」、「コミュニティヘルス看護学分野」の4分野で構成する。</li> <li>3. 博士後期課程の基盤となる共通科目として、「看護教育哲学」、「看護学研究方法論」を配置し、それぞれ（1）看護実践に根差した看護事象を、哲学的基盤を踏まえて深く探究し学問的に追究できる能力、（2）看護研究の方法を深く学び諸科学の理論と実践とのつながりを解明していくと共に、先駆的な研究課題に取り組み看護学教育に還元できる能力、国際的に通用する知の統合能力を修得し、質的・量的研究において各自の研究課題解決に必要な高度な研究能力を養う。</li> <li>4. 各分野に対応した専門科目は、「看護教育管理学特別研究」、「成育看護学特別研究」、「臨床応用看護学特別研究」、「コミュニティヘルス看護学特別研究」を配置し、それぞれの専門分野に応じて（1）研究課題を見だし深化させる能力、（2）看護の向上に貢献できる能力、（3）効果的なケアの開発及び地域全体のケアシステムの構築に貢献できる能力を養う。また、学位論文指導においては、研究計画に基づく一連の自律的な研究過程を通じ、自立して高度な研究活動を行うことで、幅広い視野と深い学識を基盤とした、国際的に通用する独創的で卓越した研究能力を養う。</li> </ol>
<p>アドミッション・ポリシー</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実践の科学である看護学をグローバルな視点を養いつつ、科学的根拠に基づいて探究し続けることができる者</li> <li>2. 探究した内容を看護教育の質、教員としての能力向上や研究能力のさらなる向上に役立てたいと考える者</li> <li>3. 大きく変化している社会背景に鑑み、哲学的思考能力や看護観、倫理観を高め研鑽していきたいと考える者</li> </ol>